

北近畿豊岡自動車道 日高豊岡南道路の開通とその効果について

国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所

1. はじめに

北近畿豊岡自動車道のうち平成 18 年度に事業化した日高豊岡南道路（但馬空港 IC ～日高神鍋高原 IC：延長 6.1km）が、令和 2 年 11 月 1 日に暫定 2 車線で開通しました。

開通に先立ち開通式典を地域の方々や関係者を合わせて約 150 名の出席のもと執り行いました。開通式典では地域の和太鼓チームによる太鼓演奏、来賓の方々からの祝辞、地元観光団体や企業、地域の小学生などからの期待のビデオメッセージをいただくなど地域一体となって開通をお祝いしました。



写真-1 11月1日 開通式典 テープカットの様子



写真-2 11月1日 開通式典 通り初めの様子

2. 事業の概要

2.1 北近畿豊岡自動車道の概要

北近畿豊岡自動車道は、豊岡市を起点とし丹波市に至る延長約 73km の高規格道路であり、兵庫県北部の但馬地域と丹波地域を直結しさらには京阪神都市圏との連結を強化し、地域の活性化を支援する自動車専用道路です。この度の日高豊岡南道路（延長 6.1km）の開通をあわせ約 66km（計画の約 90%）が自動車専用道路として開通しています。

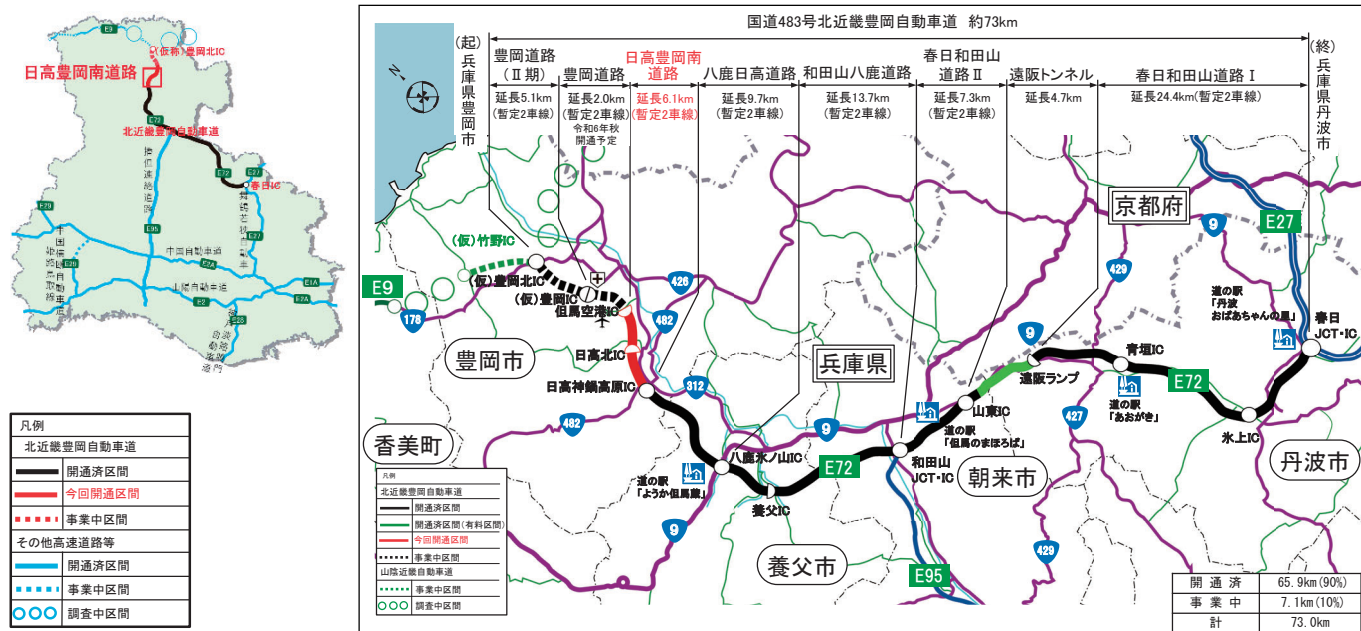


図-1.1 事業位置図

2.2 開通区間の概要

この度、開通した日高豊岡南道路は豊岡市内の山間部から山麓付近をなだらかな線形で通過する構造となり、延長6.1kmのうち土工区間が約35%を占めるほかトンネル区間が48%、橋梁区間が約18%となっています。延長の約半分を4本のトンネルが占め、そのうち、但馬空港ICに近接する上佐野トンネル(延長1,231m)はICに近接することから、北側坑口付近の掘削断面が約300m²となる大きな断面のトンネルです。

区間内の橋梁は10橋にのぼります。橋梁・トンネルにより工事区間が分断する状況のなか、資機材の搬出入のため地域の道路を搬路として利用するなど、地域の理解と協力をいただきながら工事を進め、無事開通を迎えることができました。

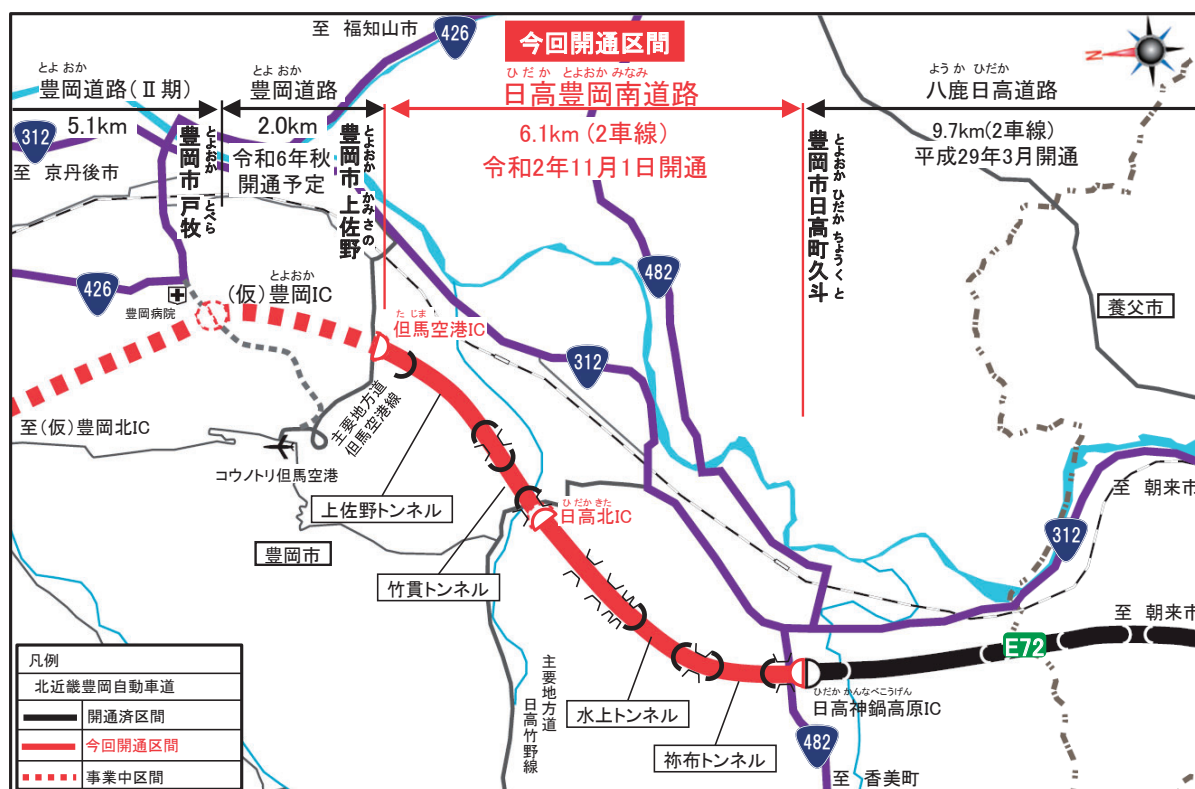


図-1.2 日高豊岡南道路概要図



写真 -3 日高神鍋高原 IC



写真 -5 但馬空港 IC



写真 -4 日高北 IC



写真 -6 上佐野トンネル（開通前に撮影）

2.3 道路規格・道路構造

開通区間の車線数は2車線（暫定）で道路規格は第1種3級です。車線の幅員は規定値である3.5mとし、車線の中央部には、土工部・中小橋部ではワイヤーロープ式防護柵をトンネル部・長大橋ではラバーポールを設置しています。また、土工部・中小橋部の路肩幅員は「豪雪地帯対策特別措置法」に基づく積雪地域に指定されていることから、左側路肩の幅員は「除雪作業時の幅」及び「堆雪幅」を考慮し2.5mとし、トンネル部・長大橋は規定値である1.75mを採用しています。

表 -1 日高豊岡南道路の諸元

延長	6.1km
幅員	12.0m（土工部・中小橋） 10.5m（トンネル部・長大橋）
道路規格	第1種3級
設計速度	80km/h
車線数	2車線（暫定）

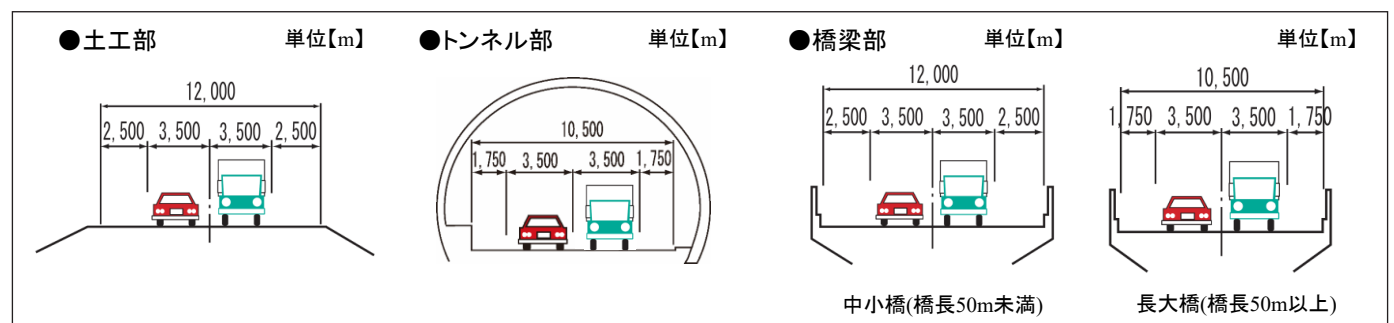


図 -2 日高豊岡南道路 標準断面図



写真-7 ワイヤーロープ式防護柵



写真-8 ラバーポール

3. 開通による整備効果

3.1 渋滞の解消

日高豊岡南道路（但馬空港 IC～日高神鍋高原 IC）の開通後の交通量は約 9,300・8,200 台 / 日でした。並行道路である国道 312 号の交通量は開通前の 13,500 台 / 日から開通後は 9,300 台 / 日と約 3 割減少しました（図 3-4 参照）。

日高豊岡南道路の開通による国道 312 号の交通量減少により、開通前には最大 100m 以上の渋滞が発生していた国道 312 号「池上交差点」「祢布交差点」の交通渋滞が解消しました（図 5. 写真 9 参照）。

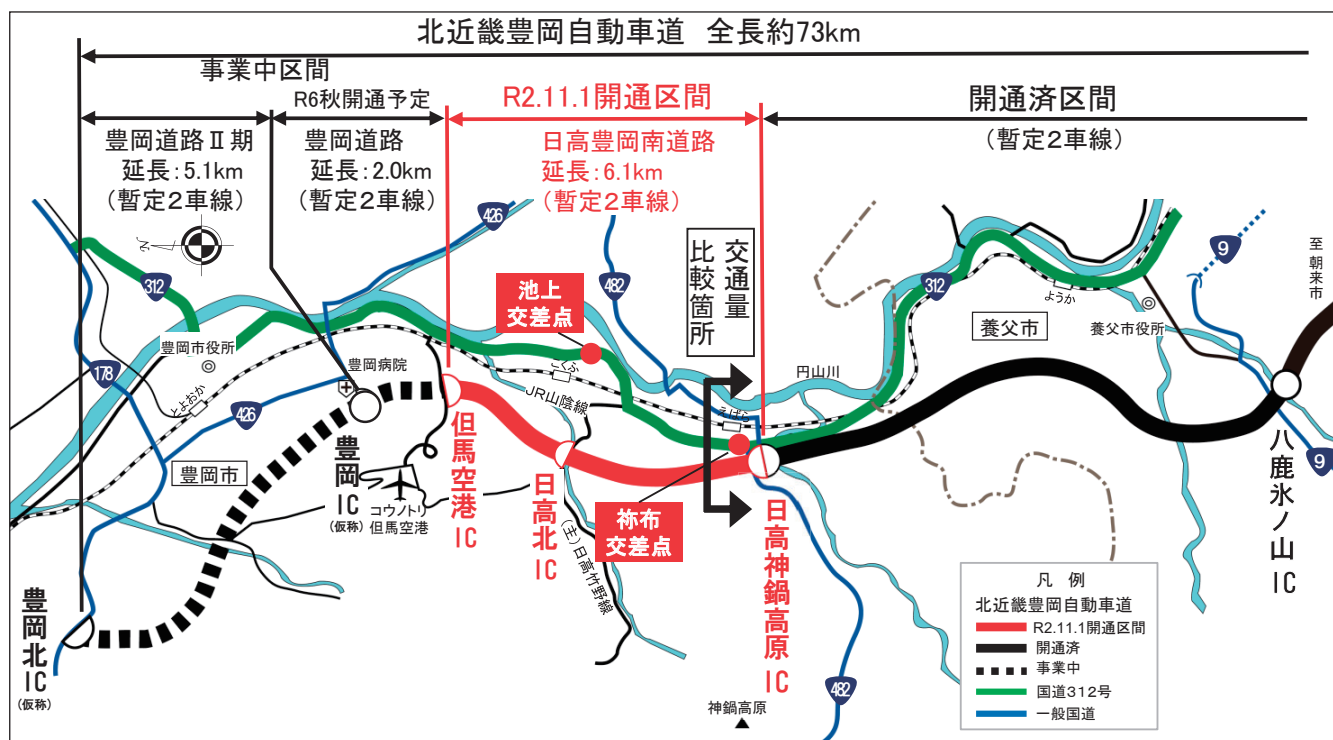
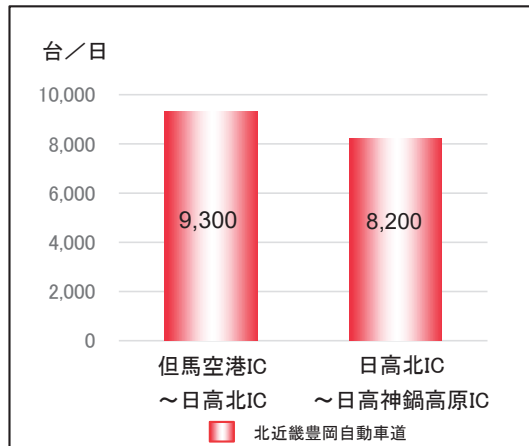


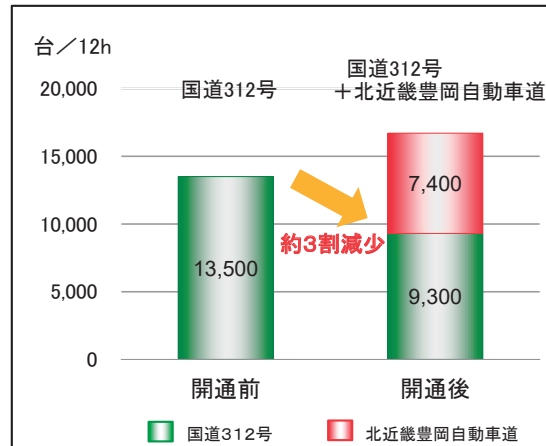
図-3 日高豊岡南道路概要図

■北近畿豊岡自動車道 日高豊岡南道路
(但馬空港IC～日高神鍋高原IC)の24時間交通量



調査日: 令和2年12月1日(火) (豊岡河川国道事務所調べ)

■国道312号 北近畿豊岡自動車道 日高豊岡南道路
(日高北IC～日高神鍋高原IC)の12時間交通量



調査日 開通前: 令和2年10月20日(火)

開通後: 令和2年11月17日(火)

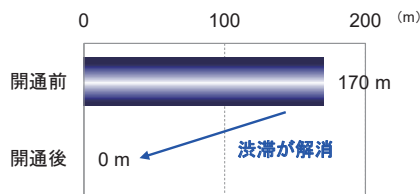
調査箇所 国道312号: 柵布交差点北側
北近畿豊岡自動車道: 日高北IC～日高神鍋高原IC
(豊岡河川国道事務所調べ)

図-4 日高豊岡南道路 開通後の交通状況

■並行区間の主要交差点における渋滞状況の変化

『池上交差点』

[北側] 国道312号 最大渋滞長 (8時台)



『柵布交差点』

[北側] 国道312号 最大渋滞長 (18時台)

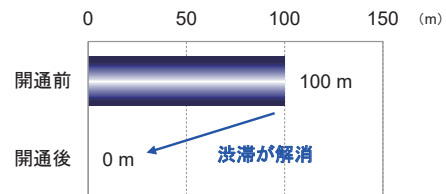


図-5 日高豊岡南道路 開通後の国道 312 号の渋滞長

池上交差点の混雑状況【開通前】



池上交差点の混雑状況【開通後】



柵布交差点の混雑状況【開通前】



柵布交差点の混雑状況【開通後】



写真-9 日高豊岡南道路 開通後の国道 312 号の渋滞状況

3.2 災害時の交通確保

平成 16 年の台風 23 号をはじめ、但馬地域を流れる円山川は幾度となく氾濫が起き、道路の通行止めなどにより豊岡市街地が孤立するなど市民生活に多大な影響が生じる可能性があります。

日高豊岡南道路は、標高の高い位置を通過するため、水害の影響を受けにくく災害時においても緊急輸送道路としての機能の確保が期待されます。



図-6 整備効果 災害時の緊急輸送路の確保



写真①:水没した国道312号(豊岡市日高町東芝地内)
撮影日:平成16年10月21日



写真②:円山川周辺の浸水状況(豊岡市日高町堀地内付近)
撮影日:平成16年10月21日

[R2.10.7 豊岡河川国道事務所 発表資料]

写真-10 整備効果 平成16年台風23号の被害写真

3.3 第3次救急医療機関へのアクセス向上

但馬地域は最寄りの消防署から救急車で1時間以上かかる※¹場所もあり、第3次救急医療機関である公立豊岡病院ではドクターヘリを運行していますが、夜間や悪天候時など、ヘリで対応出来ない場合にはドクターカーでカバーする救急医療体制を構築しています。

日高豊岡南道路及び但馬地域の道路ネットワークの整備により、但馬地域のドクターカー30分圏域※²人口カバー率が90%→98%に拡大し、救急搬送時の時間短縮が期待されます。

※¹ 緊急時（大量出血等）では、搬送時間が60分になると、生存率は10%と極めて低く、30分以内（50%の生存率）の搬送が必要とされています。

※² ドクターカー30分圏域は、豊岡病院から出発するドクターカーと各消防署から出発する救急車が30分以内で合流することができるエリア。

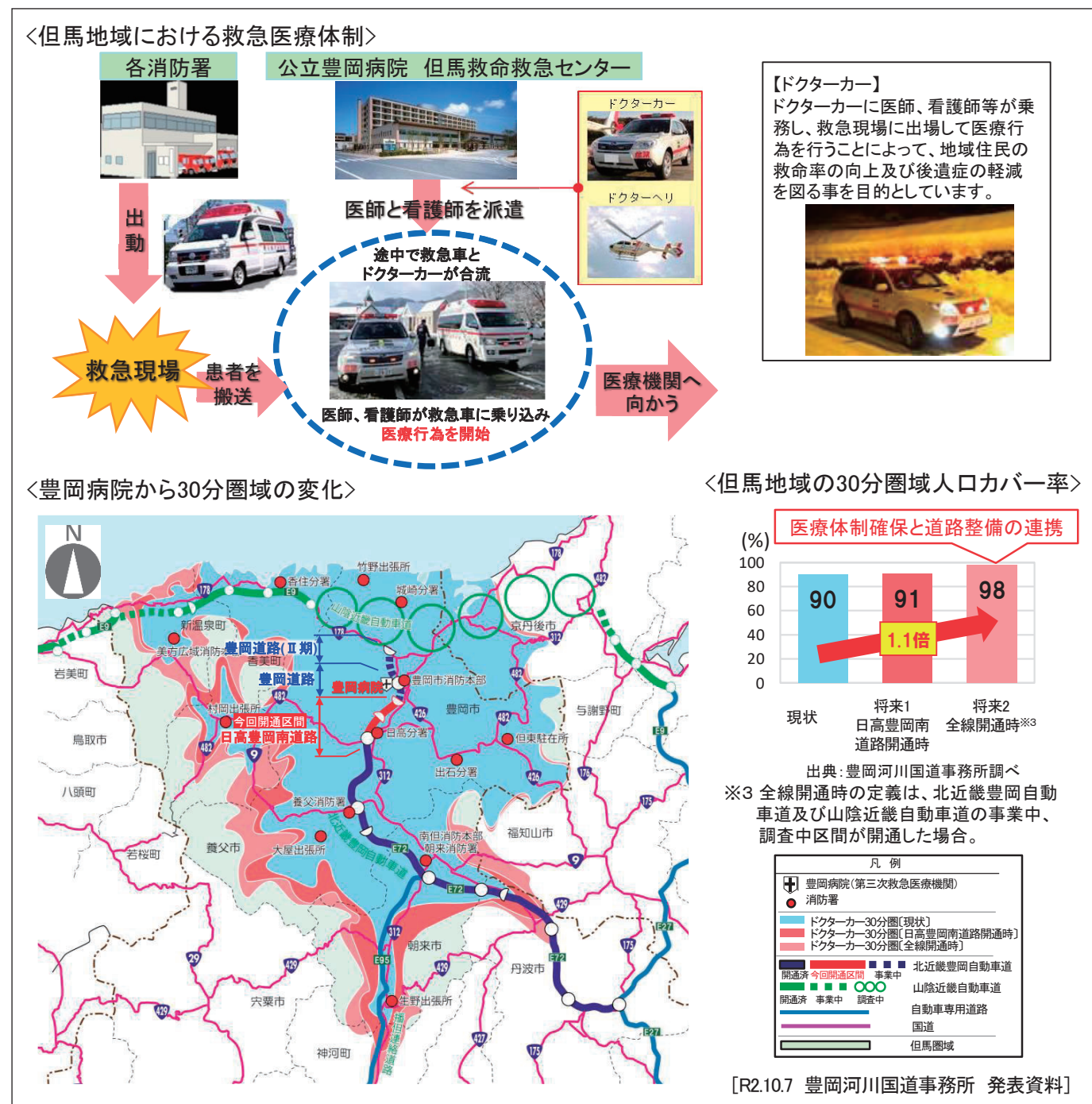


図-7 整備効果 第3次救急医療機関へのアクセス向上

3.4 観光振興への支援

但馬地域には「城崎温泉」や「神鍋高原」といった観光資源が存在しており、日高豊岡南道路の整備による利便性の向上により、但馬地域内の更なる観光の活性化が期待されます。

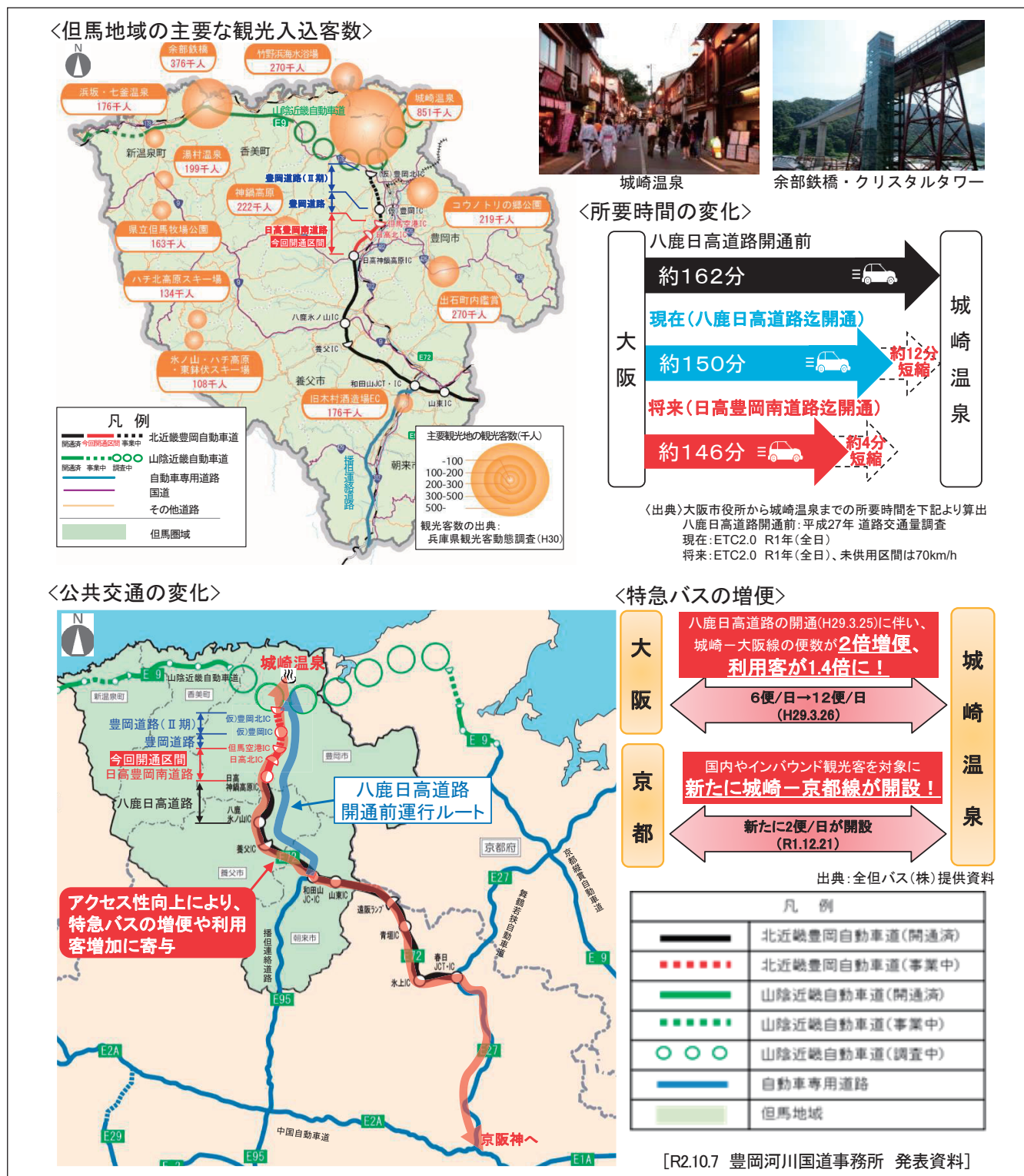


図-8 整備効果 観光振興への支援

4. おわりに

北近畿豊岡自動車道の早期整備に係る地元の強い要望、大きな期待に応えるべく、事業中区間である豊岡道路(延長2.0km)の令和6年秋開通、豊岡道路(Ⅱ期)(延長5.1km)の早期整備に向け事業をすすめてまいります。